

令和4年度

臼井地区コミュニティ懇談会

◆開催日時：令和4年9月16日（金） 18:00~19:00

◆開催会場：臼井地域生活センター 2F 集会室



<質疑概要>

避難所の運営体制について

発言： 南区は常に水害の脅威にさらされているなかで、臼井地域は人口に対して避難所の収容能力が低いと思う。

先日の「避難所運営委員会立上げ検討会」では、臼井小学校と臼井中学校で4,000人が収容可能とのことだったが、一階と体育館が使えない水害時はどうやって収容するのか。

回答： 一人1㎡という市の基準に当てはめると、地震などの場合は約4,800人が収容でき、水害の場合は1,500人弱が収容できることとなります。

ただ、水害の場合は地震などと比べて時間的余裕があるので、知人や親戚宅への分散避難、カルチャーセンターや学習館への避難も想定していただきたいと思います。

発言： 災害発生時の広報や避難所確保などの情報は、しっかりと地域に伝えられるような体制を作ってほしい。

回答： 災害発生時は市ホームページやテレビ、ラジオ、スマホなどの広報媒体による情報発信のほか、広報車による巡回やコミ協への直接連絡などを行いながら、皆さまが確実に情報を受け取ることができるよう、最善の体制づくりを目指していきます。

また、避難所運営委員会の立ち上げに向けて、皆さまと協議しながら避難所の体制づくりも進めていきたいと思います。

発言： 信濃川の堤防は完成形ということだが、大雨になると下八枚あたりの堤防法面が崩れたことがあった。

回答： そういう地域でしか分からないような箇所については、常に情報をいただきながら対応していきたいと思います。

農業・商工業について

発言： 新規担い手支援事業を上手く使い、都会から田舎へ移住する仕組みや市が主導で農家がネット販売できるシステムがあるとよい。

回答： コロナ禍で地方に目が向けられている状況があり、新規担い手支援事業はそこに目を付けて取り組みを始めました。

果樹栽培の里親からは、栽培だけでなく住宅の紹介や自治会との付き合い方など、生活面の面倒もみてもらえるように取り組んでいます。

市主導のネット販売については、個人経営に関与するのは難しい部分がありますので、ご意見を参考にさせていただきます。

発言： 耕作放棄地が増えているが、そういうところにコストコなどを誘致できれば、若者の流出抑制に

つながるのではないか。

回答： コストコなどの大型店舗を誘致して住みやすい地域にしたり，工業団地に企業を誘致して雇用を確保したりすることは個人的にはよいことだと思います。

ただ，農地転用はハードルが高くて直ぐには踏み込めないことをご理解いただきたいと思います。

発言： 土地を提供できるのは農家しかいないので，農地転用が簡単にできるようにならないと開発が進まず人口流出は防げないと思う。

回答： 農地転用は絶対駄目というわけではなく，工業団地であれば市全体の施策として進めていくことになることをご理解いただきたいと思います。

小中一貫校について

発言： 臼井小学校と臼井中学校は，同じ校舎を使用する小中一貫校にならないと存続できないと思うが，小中一貫校をどのように進めていくのか。

回答： 9年間を見通した学習として，小中一貫した教育を進めていることは理解しているが，小中一貫校の取り組みについては，教育委員会に確認させてもらいたいと思います。